

2026年度第4回西日本放送番組審議会

開催年月日 2026年7月7日(火) 14:00～16:00
開催場所 西日本放送岡山本社3階会議室
委員の出欠 委員総数 8名
出席委員数 7名

出席委員の氏名

西	原	義	一	委員長
岡	田	佳	子	委員
三	好	千	尋	委員
小	田	英	城	委員
上	條	智	子	委員
大	西	励	一	委員
戸	川	健	司	委員

欠席委員の氏名

佃 昌 道 委員(レポート提出)

社側の出席者

竹 内 陽一郎(代表取締役社長)
和 家 剛(執行役員報道制作局長兼
香川報道制作部長(制作担当))
久 保 和 照(岡山本社中国総支社長兼営業部長)
筒 井 紀 文(岡山報道制作部長)
中 村 大 輔(岡山報道制作部)

事務局

十 鳥 真 理(編成業務部長兼番組審議会事務局長)
住 吉 剛(編成業務部次長兼番組審議会事務局次長)
山 本 峰 子(編成業務部兼番組審議会事務局)

2026年度第4回番組審議会議事次第

開催日 2026年7月7日（火）14:00～16:00

場 所 西日本放送岡山本社 3階会議室

〔議 事〕

議事進行 西原義一委員長

社側挨拶 代表取締役社長 竹内陽一郎

1. 議 題 テレビ番組

『NNNドキュメント’26

俺、教師やめるわ！教育を嫌い 教育を愛する人へ』

2. 質疑応答

〔参考資料〕

- 社報 No. 493
- タイムテーブル 夏号
- 視聴者対応 6月
- BPO報告 No.291

〔次回開催予定〕

開催日 2026年9月8日（火）14:00～16:00

場 所 西日本放送岡山本社 3階会議室

TEL 086-244-0111

議 題 テレビ番組

『NNNドキュメント’26

終（つい）の島～瀬戸内海とハンセン病～』

放送日 2026年7月19日（日）25:05～25:35

制 作 RNC西日本放送テレビ

以上

【議事概要】

今回は、テレビ番組「NNNドキュメント'26 俺、教師やめるわ！教育を嫌い 教育を愛する人へ」を視聴していただきました。

委員からは、

- ・今の時代、一人一人と向き合うことが本当に少なくなっており、AI などができ、人と人が関わらずに生きていくことが増えている中で、人と寄り添う、人のことを観察する、見るということがとても大切だと改めて考えさせられた。

- ・構成としては岡田先生が主人公で誰も取り残さないということを一つの信条にして、60分の中では何人もの生徒さんが出てきて、それぞれの生徒さんに焦点を当てて様々な状況を、うまく構成していると感じた。

- ・所々どういうことかわからないところがあった。説明までは必要ないが、もう少し間があれば良かったと思う。良いことを言っているのに、すぐに違う映像がかぶってくることでこちらの理解が追いつかない時が若干あり、誤解を招いてしまうような構成になったのではないか。

- ・視聴前にタイトルを見て、反骨心のある先生が学校とものすごい対立をしている様なイメージをもって見始めてたので、入っていくまで少し自分の頭の整理が必要だと感じた。ただ見始めると本当にヘビーだが、長い期間にわたり継続的に撮影をしていて、しかも生徒さんや親御さんにも非常に丁寧に取材されており人によってはこういうことをデリケートな問題と捉えて、なかなか取材が難しかったりすることもあると思うが、そのあたり恐らく信頼関係をしっかり築かれていることが非常に丁寧に映し出されていて特に生徒さんの心の動きなど、こちらにも伝わってくるような感じがした。

- ・気になったところは、岡田先生の子どもの頃の話で、中学生の時に高校先生を殴ったというエピソードのところで、振り返って「その手段を取ったらいかん」とは言っていたが、公平性に欠けるので、この部分はなくてもいいのではないかと思った。全体的には良いコンセプトだと思う。

・岡田先生を中心に生徒さん含めて色々な問題提起をしながら、難しいところが全部まとめてあり非常に良かったと思う。

・多様な人々が共に生き、多様な人々を育てていく社会が目前に迫っている。本番組は、そうした視点から日本の教育の在り方にも踏み込んだ意義深い作品になったのではないか。

との意見がありました。

担当者からは、岡田先生と話をしている中で、言っていることがすごく刺さり、この学校と教育をテーマに何かできないかと考え、ここまで来ました。一番伝えたかったのは、人それぞれ人生をどう生きていくのかというのを、見ている方たちに問いかけたかったところが、この番組構成を作るにあたり一番のテーマでした。ドキュメントだと、モザイクをかけることも多く、名前を出せないなど本来もっとあるはずですが、NGがほとんどなく、出ていただけたところが、本当に楽しく取材ができ、苦労なく制作できました。先生はじめ、生徒のみなさんに助けていただき、この番組が生まれたと思います。との回答がありました。